

第2学年商業科

シラバス (理 科)

愛媛県立大洲高等学校

教科	理科	科目	生物基礎	学年	1	類型	商業科
単位数	2	教科書	新編 生物基礎	出版社	東京書籍		
副教材	ニューアチーブ 生物基礎 (東京書籍)						

学習の到達目標

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生命現象や環境への関心を高める。
- (2) 目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身に付ける。
- (3) 基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究する力を養う。
- (4) 基本的な概念や原理・法則を活用し、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究する態度を養う。
- (5) 習得した知識・技能を用いて、生物や生物現象に主体的に関わり、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

授業の概要

- ・ 中学での既習内容を大切に、復習を踏まえた学習により授業進度を調整し、新しい知識への理解を深める指導を行います。
- ・ 知識の習得は、プリントやワークなどを活用して行い、わかりやすいきめ細かな授業を行います。協働学習も適宜組み込み、学習に遅れる生徒を出さないよう工夫します。
- ・ 身近な生命現象にに関連付け、実験・観察を通してわかりやすく興味関心を持たせることのできる指導を行います。
- ・ 各学習の節目には、章末問題や小テストを実施し、個々の生徒の理解度を計りながら、適切な復習機会の提供や次回以降の授業進度の調整を行います。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括(評定)します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物の基本的な用語や生体内の反応を正しく理解している。</li> <li>・ 用語や生体内の反応を、その後の学習や生活の中で新しい事象の解釈に応用できる。</li> <li>・ 推論、実験、検証の過程で科学的な考え方や方法を用いることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題を遂行するにあたって、科学的・論理的に考察し、判断できる。</li> <li>・ 課題の設定理由、研究課程、結果を的確・簡潔にわかりやすく表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物や生命現象に対して主体的に関わり、探究心をもち、意欲的に取り組むことができる。</li> <li>・ 生物の用語や生体内の反応に対する気づきから課題を設定し解決しようとする態度を身に付けている。</li> </ul>
評価の対象	定期考査・テスト・課題・授業時の観察など	定期考査・テスト・課題・授業時の観察など	学習への参加状況・課題など
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A, B, Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」:A, 「おおむね満足できる」:B, 「努力を要する」:Cとして評価します。</li> <li>・ 「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</li> </ul> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの                      4 … 十分満足できると判断できるもの                      3 … おおむね満足できると判断できるもの                      2 … 努力を要すると判断されるもの                      1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい (内容のまとまりごとの評価規準)	定期考査
1 学期	第1編 生物の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物は多様でありながら、すべての生物に共通する性質があり、その共通性は共通の起源に由来することを理解している。</li> <li>顕微鏡およびマイクロメーターの操作と特性を学び、顕微鏡観察の技術を身に付けている。</li> <li>ATPが代謝におけるエネルギーの授受に関係し、その構造とはたらきを理解している。</li> <li>酵素の基本的な特徴を理解している。</li> <li>呼吸と光合成の特徴を理解し、代謝のしくみを説明することができる。</li> </ul>	1 学期 中間考査
	第2編 遺伝子とその はたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報やゲノムについて体系的に理解している。</li> <li>DNAの構造の規則性や関係性を見いだして表現している。</li> <li>DNAが正確に複製されるしくみを理解している。</li> <li>細胞周期の概要を理解し、細胞分裂の過程でDNAが等しく分配されることを理解する。</li> <li>DNAの遺伝情報の転写と翻訳のしくみを体系的に理解し、表現できる。</li> <li>細胞の機能に応じて発言している遺伝子が異なることを理解している。</li> </ul>	1 学期 期末考査
2 学期	第3編 ヒトの体の調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>神経系と内分泌系による調節について、体内環境の維持のしくみを理解している。</li> <li>運動前後の体の変化から、体内環境の維持のしくみについて考察し、表現しようとしている。</li> <li>学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返り理解を深めようとしている。</li> <li>血統濃度の調節や体温調節のしくみを理解している。</li> <li>食細胞などによる自然免疫や、血液凝固のしくみについて理解している。</li> <li>免疫に関する実験・観察の結果を考察し、科学的に探究し表現しようとしている。</li> <li>免疫と私たちの生活の関わりについてを理解し、主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>	2 学期 中間考査
			2 学期 期末考査
3 学期	第4編 生物の多様性と 生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>植生と遷移の基本的な概念や原理を理解している。</li> <li>環境要因としての光と土壌の変化や特徴について理解し、説明することができる。</li> <li>環境条件によって植生が異なることを理解し、気候に応じたバイオームが形成されることを理解している。</li> <li>生態系と生物の多様性について基本的な概念を理解している。</li> <li>生態系のバランスについて理解し、その保全の大切さについて考察し、表現することができる。</li> <li>人間活動が生態系へ与える影響について理解し、その対策について主体的に考えようとしている。</li> </ul>	学年末考査